

2013年3月期第3四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2013年2月5日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2013年2月5日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

- .2013年3月期第3四半期の決算及び事業の概況
- .2013年3月期第3四半期の取り組みと重点施策の進捗状況
- .当社グループの強みと今後の目指すべき方向性
- .当社の経営目標及び株主還元について

.2013年3月期第3四半期の決算及び事業の概況





2013年3月期第3四半期 決算概況

	2013/3期 2Q 【2012/7 ~ 2012/9】	2013/3期 3Q 【2012/10 ~ 2012/12】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	2,452億通貨単位	3,029億通貨単位	23.5%
営業収益	1,213百万円	1,563百万円	28.9%
経常利益	142百万円	200百万円	-

第3四半期の損益影響ファクター

【プラス要因】

- ・主要通貨を中心とした**変動率の上昇**
- ・**自社顧客基盤**(口座数・取引高)の拡大
- ・費用対効果の高い**新規口座獲得**
- ・新約定取引系システムの稼働

【マイナス要因】

- ・**金融法人取引の減少**
(ホワイトラベル先取引の減少)



3Qは、2012年4月以降の方向感の見え難い外国為替相場展開から、明確な円安トレンドが意識されたことでFX取引参加者が増加し、取引高をはじめ利益水準も大きく回復。



今後の損益影響ファクター

プラス要因

・基幹システム刷新効果の本格化

- 新顧客系システム稼働によるシステム固定費の増加抑制
- リリース済み新約定取引系システムとの連携による収益性向上

・ホワイトラベル取引終了に伴うシステム維持コストのスリム化 (2013年4月以降の業績に寄与の見込み)

- 大型汎用機の運用終了によるシステム固定費の削減

マイナス要因

・ホワイトラベル取引終了による取引高・収益減少

- 取引サービス(新規建玉・決済)終了予定 : 2/16(土)

	2012/3期 累計 【2011/4 ~ 2012/3】	2013/3期 3Q累計 【2012/4 ~ 2012/12】
当社FX取引高に占めるホワイトラベル取引高の割合	約38%	約23%



2013年3月期第3四半期 連結決算ハイライト

2013年3月期第3四半期 連結決算の総括とポイント

口座数は8月に20万口座を突破し順調に拡大。預り証拠金は金融法人顧客による余剰預託金の出金等により前四半期比2.0%減の419.2億円に。

総口座数	207,859口座	2013/3期2Q末比	2.3%増
預り証拠金	41,929百万円	2013/3期2Q末比	2.0%減

第3四半期(2012/10-12)の外国為替取引高は、外国為替相場の変動率の上昇等により前四半期比23.5%の増加。

10-12月取引高	3,029億通貨単位	2012/7-9月比	23.5%増
-----------	------------	------------	--------

取引高には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

営業収益は取引高の増加等により1,563百万円(前四半期比28.9%増)、経常利益は200百万円(前四半期は 142百万円)となった。

四半期純利益は前四半期比290百万円増の122百万円(前四半期は 167百万円)となった。

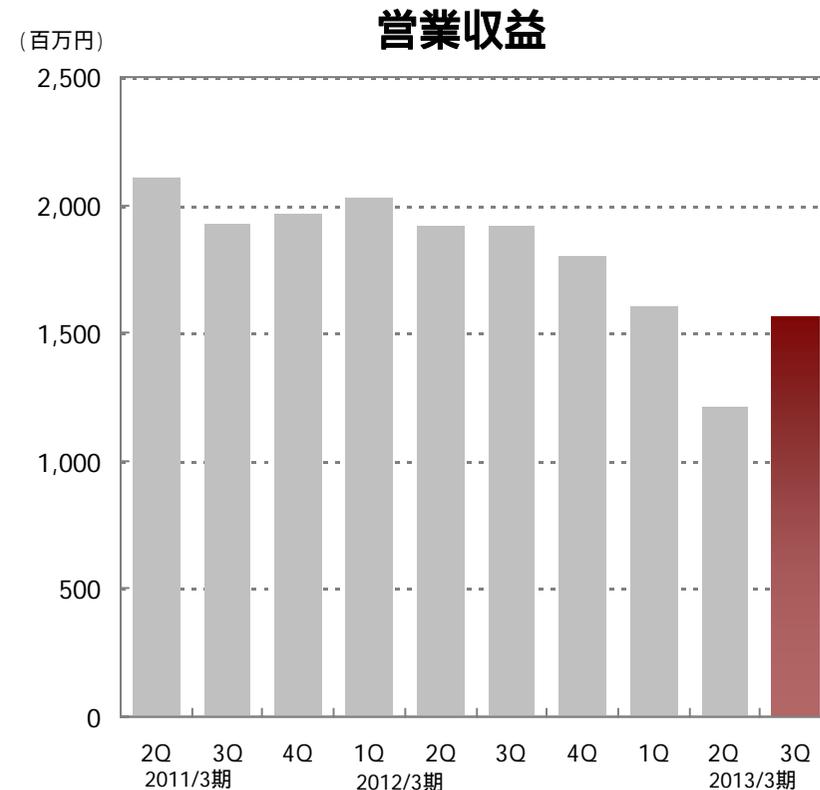
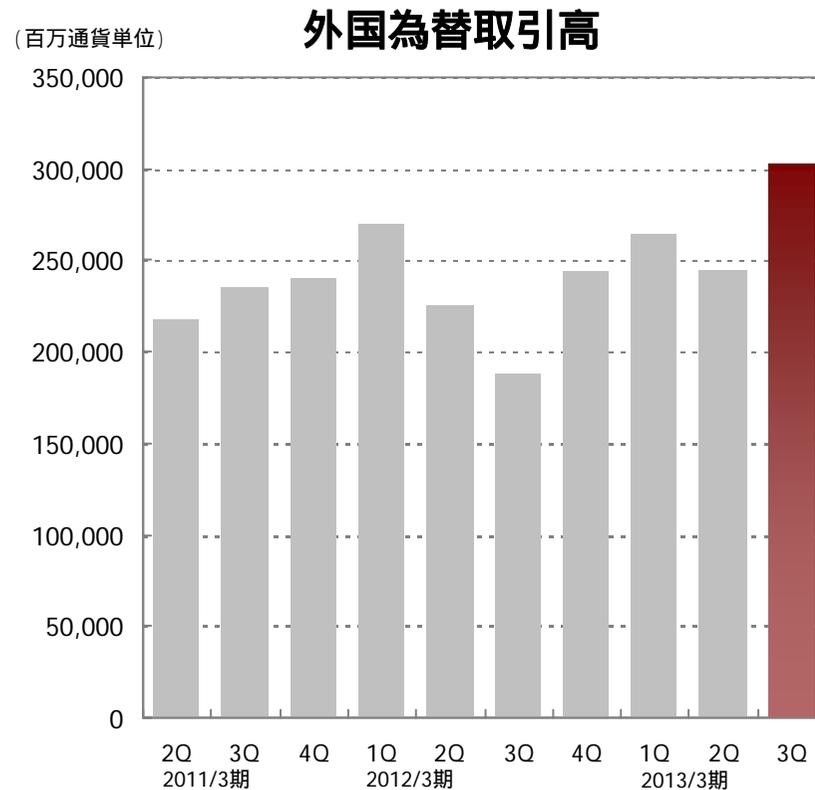
- ✓ 衆議院議員総選挙とそれに伴う日銀の金融緩和期待の思惑等が大きく相場に影響し、外国為替取引高は前四半期比23.5%増となった。
- ✓ 営業収益増加の一方、販管費総額は前四半期比0.5%増に留まり、営業収益の増加が利益の増加につながった。



事業数値の動向

Money Partners Group

■ 外国為替取引高及び営業収益の推移



(単位 = 外国為替取引高: 百万通貨単位、営業収益: 百万円)

	11/3期 2Q	11/3期 3Q	11/3期 4Q	12/3期 1Q	12/3期 2Q	12/3期 3Q	12/3期 4Q	13/3期 1Q	13/3期 2Q	13/3期 3Q
外国為替取引高	217,810	235,158	240,340	270,379	225,346	188,609	244,236	264,466	245,265	302,966
営業収益	2,105	1,930	1,969	2,027	1,922	1,922	1,799	1,604	1,213	1,563

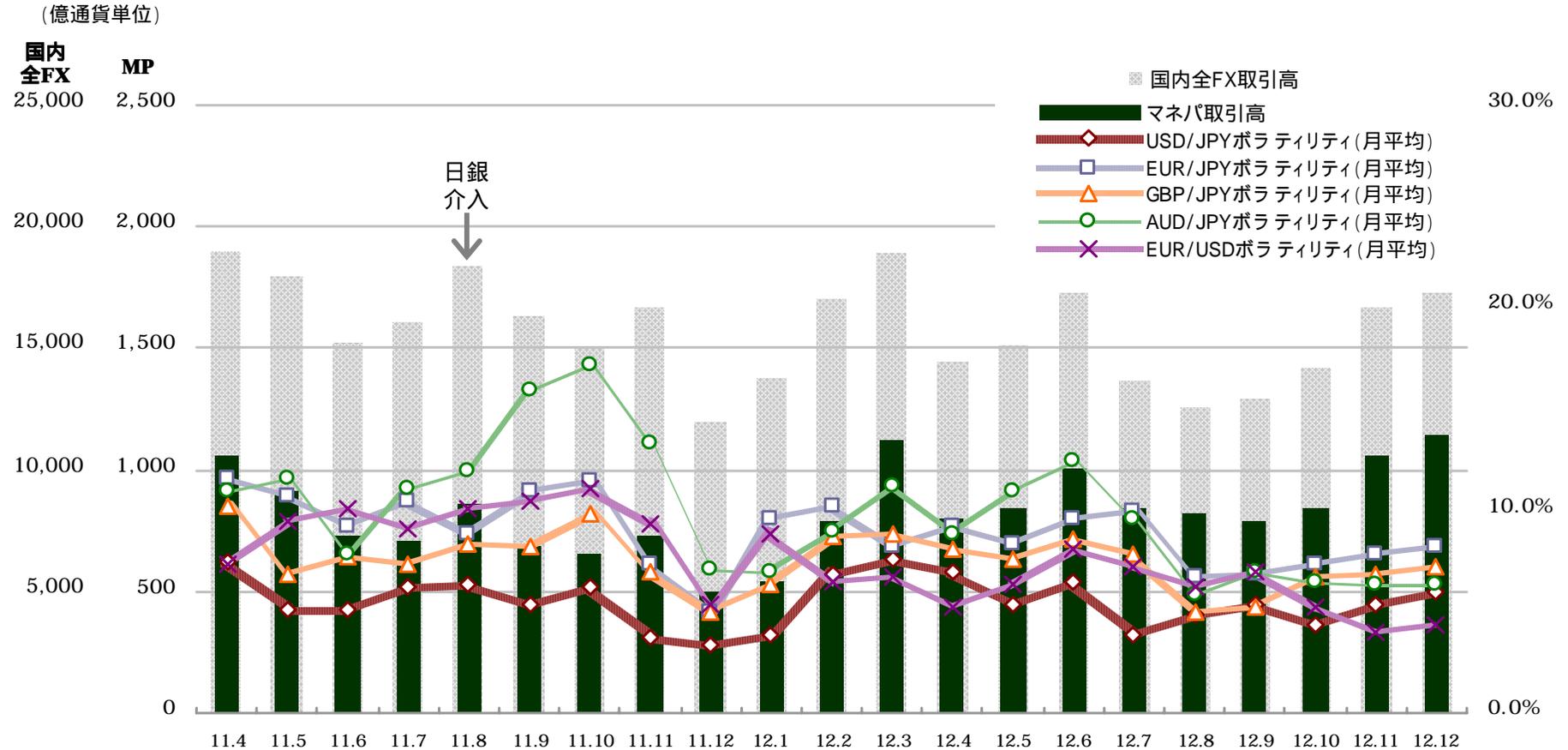
それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



市場環境と事業の動向

Money Partners Group

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



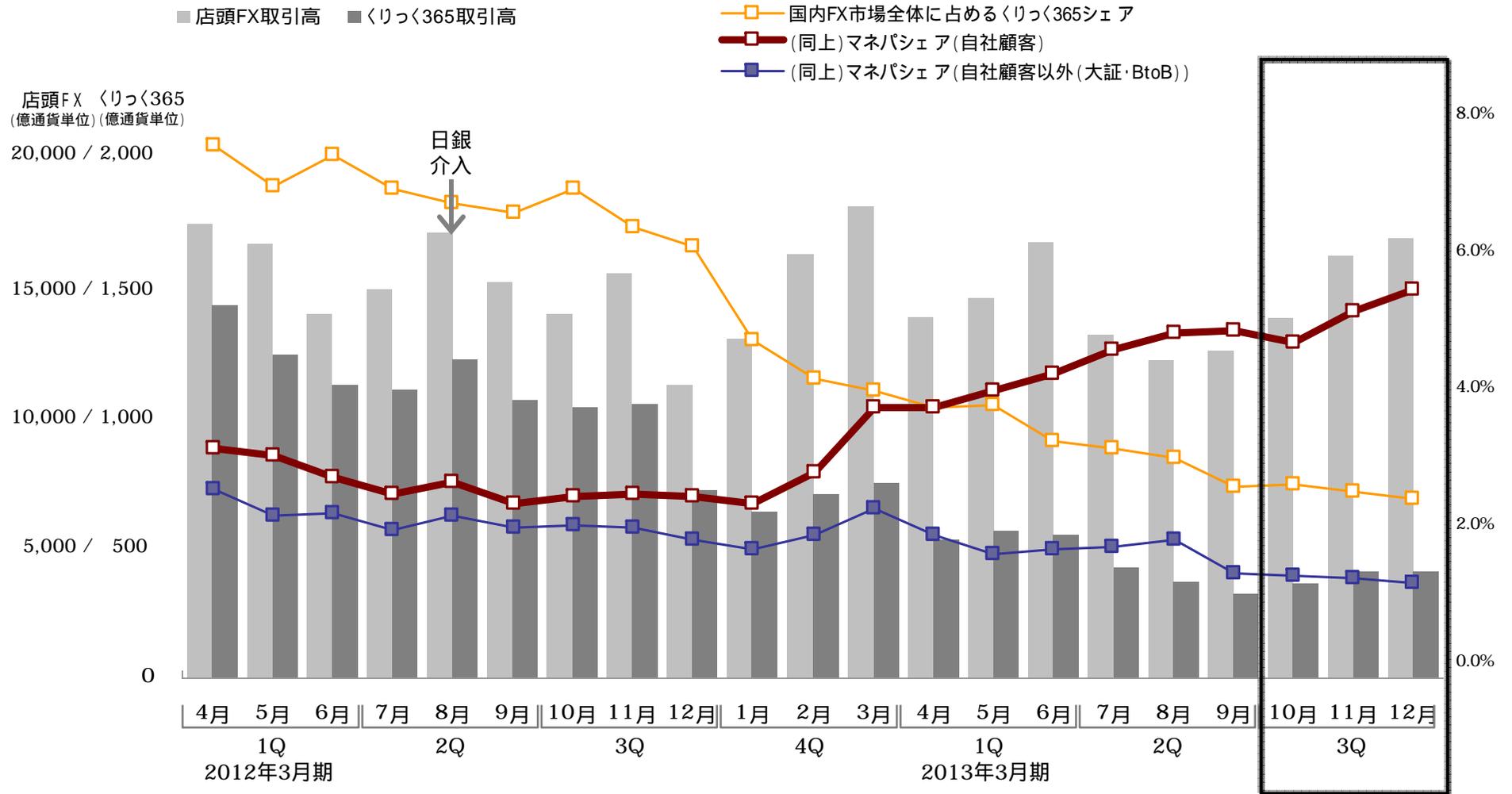
米国「財政の崖」問題、衆議院議員総選挙とそれに伴う日銀の金融緩和期待の思惑等が相場に影響し、ボラティリティは2Q比増加傾向に。また、2012年4月以降の方向感の見え難い相場から円安トレンドが明瞭に。



市場環境と事業の動向

Money Partners Group

店頭FX及びくりっく365取引高と当社シェアの推移



第3四半期(2012/10-12)の国内FX取引高は前四半期と比べ23.2%増加。
 当社グループの取引高も前四半期比23.5%増となっており、自社顧客取引は着実に拡大。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2011/3期	2012/3期				2013/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
営業収益	1,969	2,027	1,922	1,922	1,799	1,604	1,213	1,563	28.9%
受入手数料	0	3	4	2	3	2	1	6	361.8%
トレーディング損益	1,958	2,015	1,903	1,910	1,786	1,592	1,202	1,548	28.7%
金融収益	4	3	4	3	4	4	4	4	15.0%
その他の売上高	5	4	9	5	5	4	4	4	2.0%
金融費用	14	36	38	37	32	21	22	22	2.3%
売上原価	1	1	5	3	3	2	2	2	1.2%
純営業収益	1,952	1,989	1,878	1,882	1,763	1,579	1,188	1,538	29.4%
販売費・一般管理費	1,796	1,887	1,801	1,641	1,633	1,527	1,332	1,338	0.5%
営業利益	156	102	77	241	129	52	143	199	-
経常利益	149	98	67	237	123	29	142	200	-
税金等調整前四半期純利益	150	94	92	237	117	29	239	198	-
四半期純利益	87	56	80	134	66	16	167	122	-
営業収益経常利益率	7.6%	4.9%	3.5%	12.3%	6.9%	1.9%	11.8%	12.8%	

1. 取引高の増加により営業収益が増加し前四半期比350百万円増の1,563百万円、四半期純利益は前四半期比290百万円増の122百万円となった。
2. 営業収益の増加により、営業収益経常利益率はプラスへ。



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位: 百万円

	2011/3期	2012/3期				2013/3期			前四半期 対比増減
	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	
取引関係費	953	973	915	781	767	634	481	439	8.8%
人件費	222	244	244	263	261	256	242	235	2.7%
不動産関係費	243	266	248	195	206	219	216	218	0.8%
事務費	227	233	234	237	236	247	221	280	26.9%
減価償却費	129	124	131	135	135	130	144	141	2.0%
租税公課	0	10	11	11	12	11	13	10	21.1%
貸倒引当金繰入れ	4	-	0	0	-	-	-	-	-
その他	14	34	15	18	13	26	11	12	0.9%
販売費・一般管理費合計	1,796	1,887	1,801	1,641	1,633	1,527	1,332	1,338	0.5%

(主要な費目)

広告宣伝費(1)	132	99	147	130	125	124	130	58	55.0%
システム関連費用(2)	391	414	399	340	359	380	357	408	14.3%

1 取引関係費の一部となります。 2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

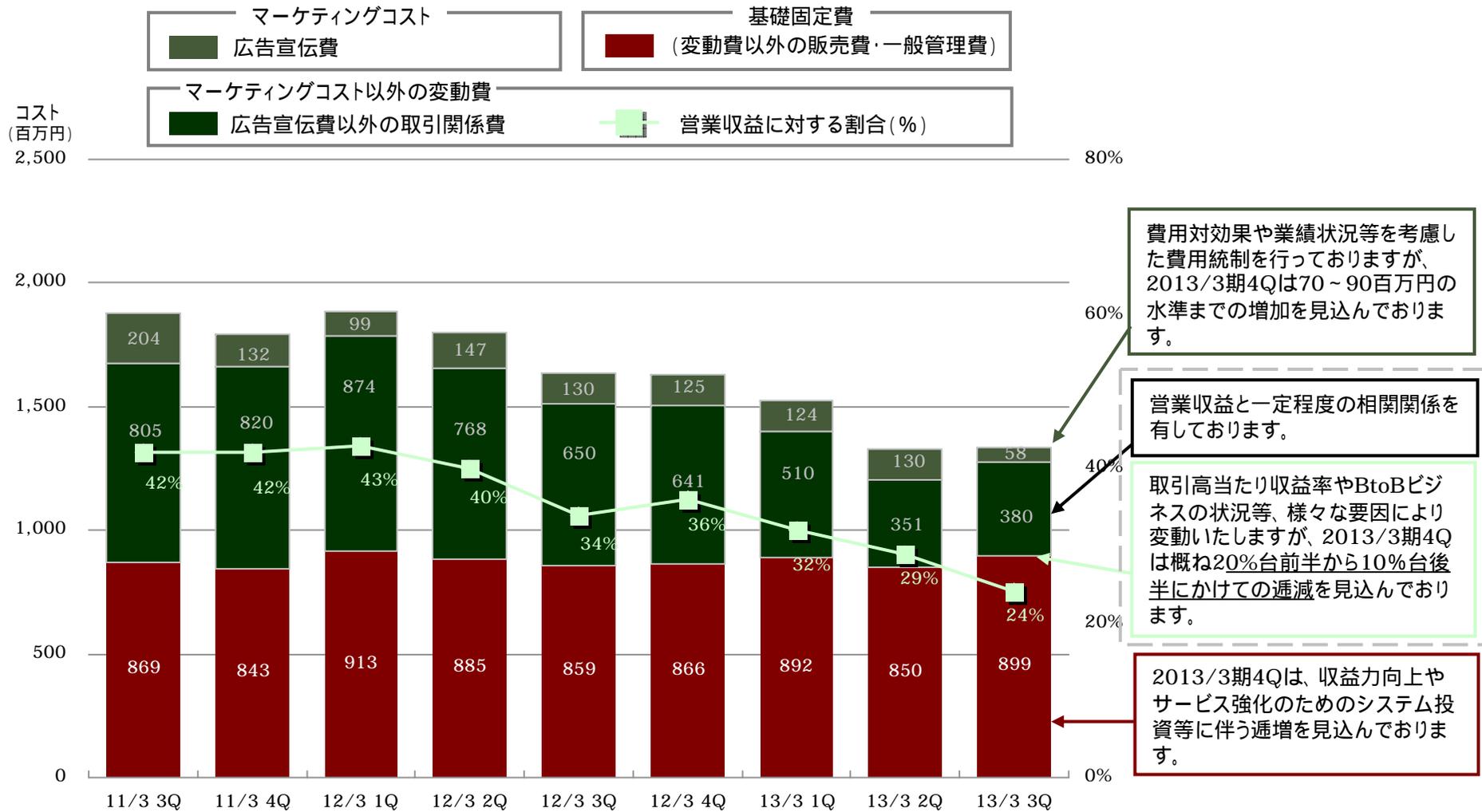
1. システム関連費用の増加により事務費が26.9%増加したが、コスト全体では前四半期比0.5%増に留まり、1,338百万円となった。
2. システム関連費用は、基幹系システム導入に伴う初期費用及び保守費用等の発生により前四半期比14.3%増の408百万円となった。



Money Partners Group

四半期固定費及び変動費推移と今後の動向

■ 主要な固定費・変動費の推移



費用対効果や業績状況等を考慮した費用統制を行っておりますが、2013/3期4Qは70～90百万円の水準までの増加を見込んでおります。

営業収益と一定程度の相関関係を有しております。

取引高当たり収益率やBtoBビジネスの状況等、様々な要因により変動いたしますが、2013/3期4Qは概ね20%台前半から10%台後半にかけての逡減を見込んでおります。

2013/3期4Qは、収益力向上やサービス強化のためのシステム投資等に伴う逡増を見込んでおります。

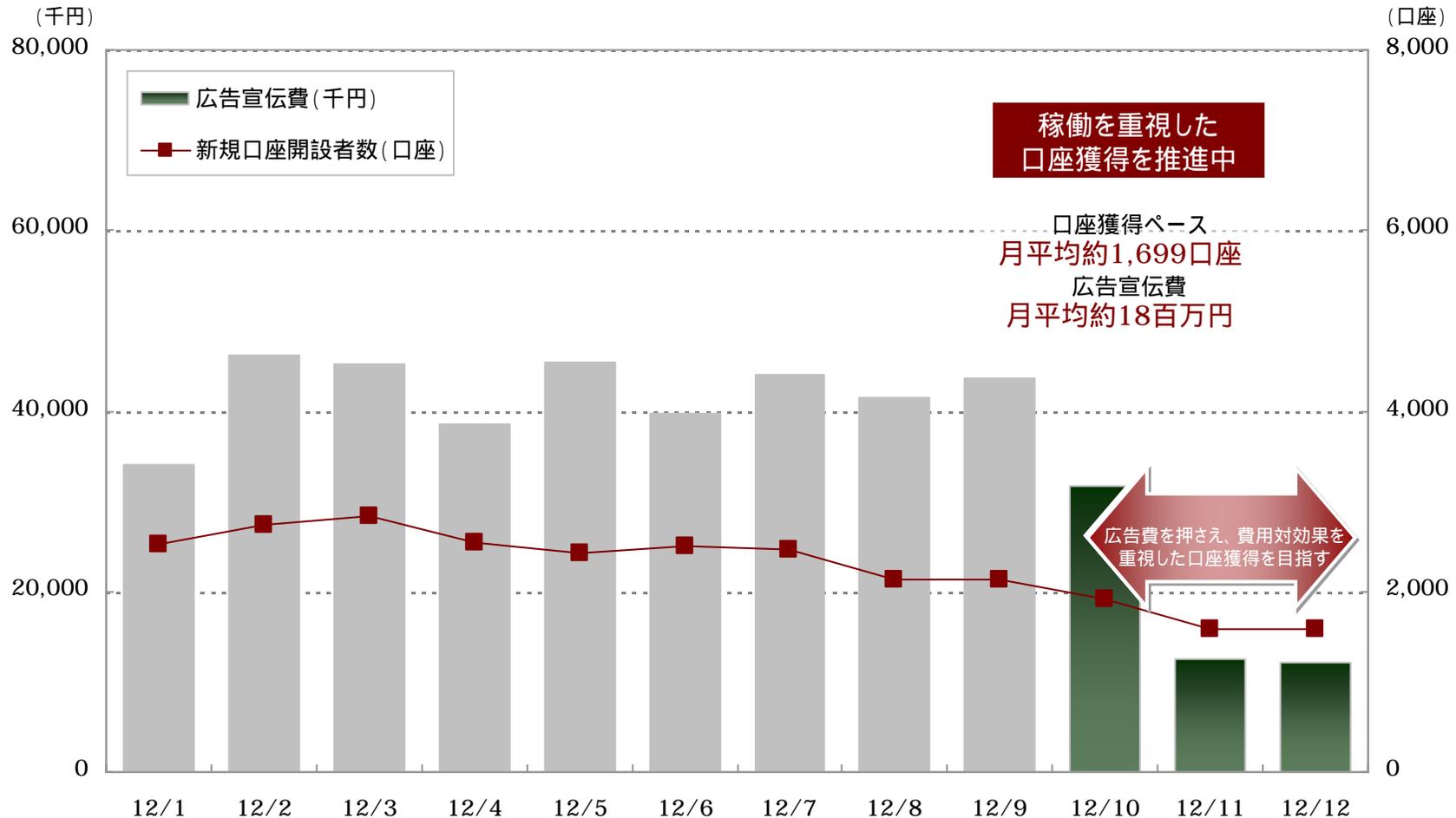
BtoB取引高の全体に占める割合の低下等に伴い営業収益に対する変動費の割合が24%に低下。



月次広告宣伝費の推移

Money Partners Group

■ 広告宣伝費及び新規口座開設者数の推移



広告宣伝費を大幅に削減したが、実稼働を重視した口座獲得を目指し、コスト削減と新規口座獲得との両立を実現



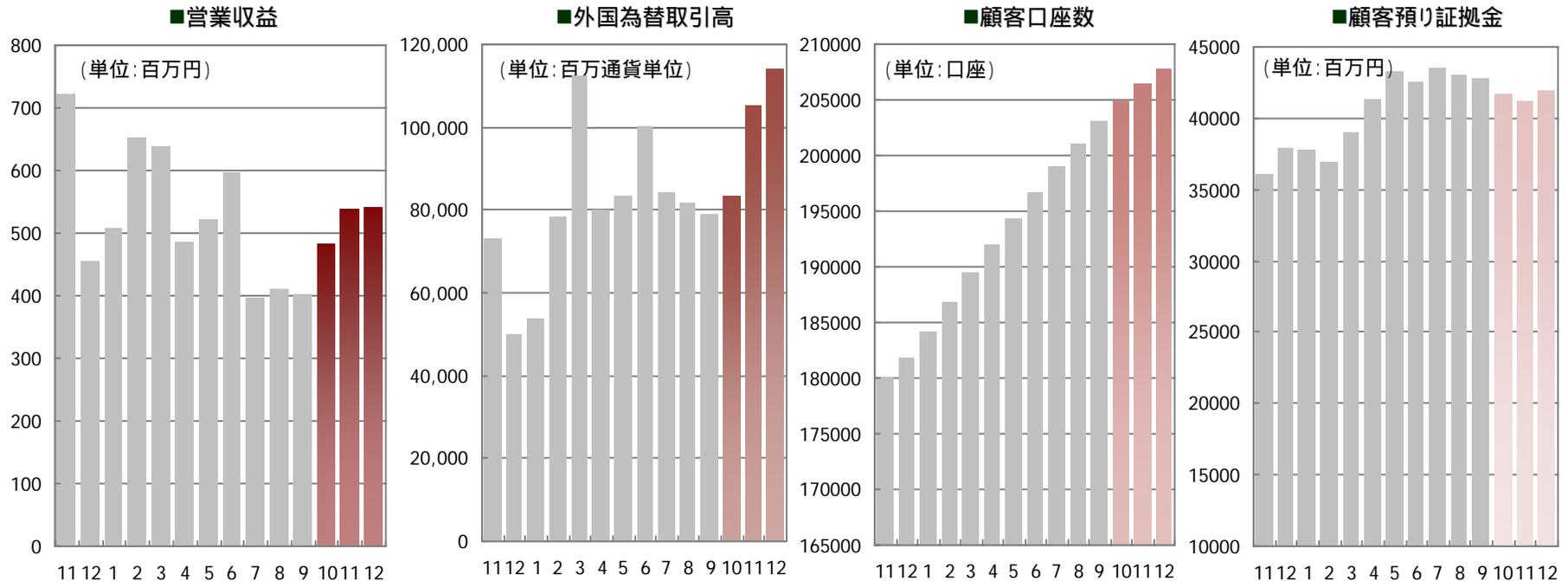
月次業績指標推移

Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2011年		2012年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益(百万円)	721	456	508	652	638	485	522	596	396	412	404	482	539	542
外国為替取引高 (百万通貨単位)	73,015	50,117	53,593	78,387	112,254	80,325	83,691	100,449	84,479	81,991	78,794	83,547	105,437	113,982
顧客口座数(口座)	180,145	181,877	184,260	186,877	189,570	192,007	194,315	196,680	199,051	201,086	203,125	204,938	206,375	207,859
顧客預り証拠金(百万円)	36,029	37,888	37,732	36,935	39,034	41,341	43,321	42,495	43,576	43,005	42,796	41,718	41,219	41,929

営業収益、取引高は、ホワイトラベル提供及び大証FXマーケットメイク業務に伴い発生した収益・取引を含んでおります。顧客預り証拠金は、ホワイトラベル提供に伴う預り証拠金を含んでおります。それぞれの計数には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。

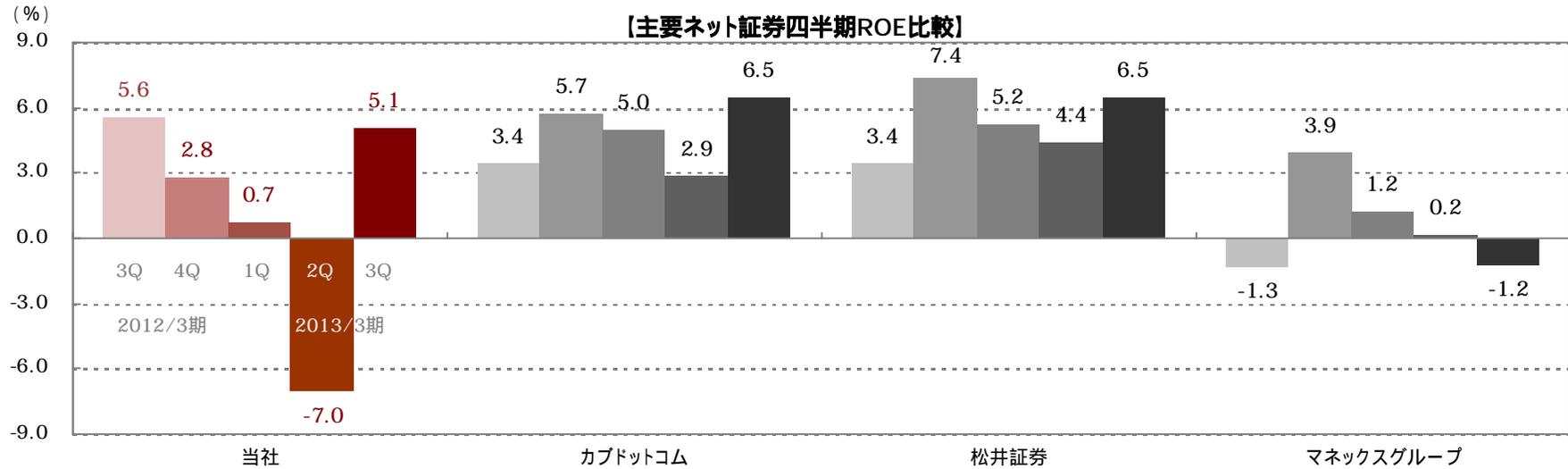




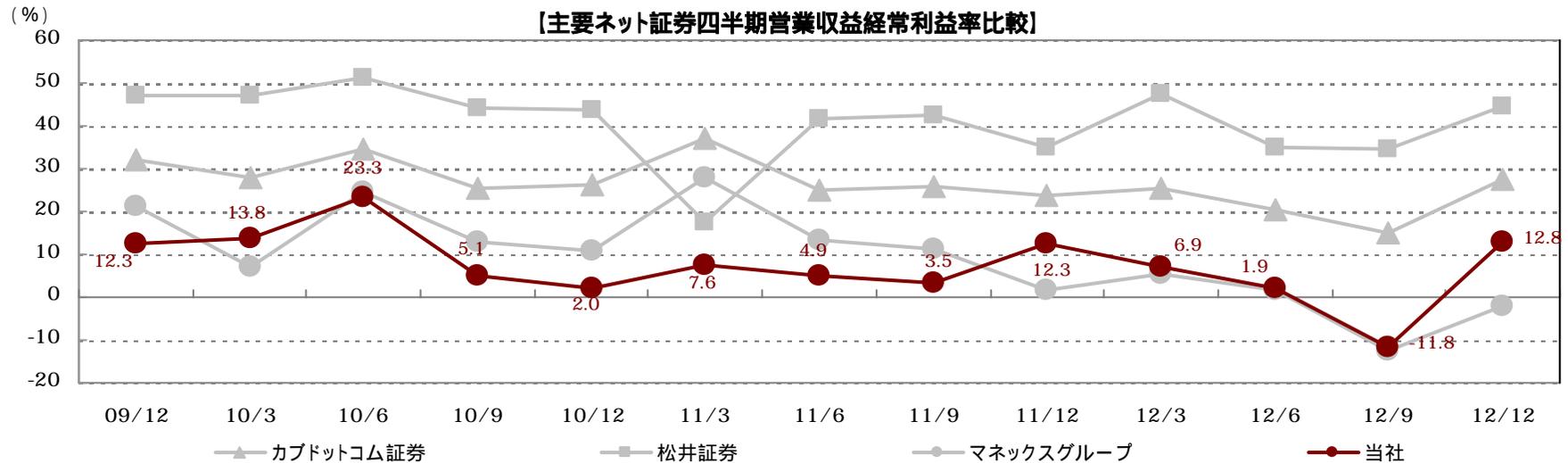
主要経営指標推移

Money Partners Group

■ 主要ネット証券とのROE及び営業収益経常利益率比較



：四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期初自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$ なお、他社データにつきましては、各社IR資料より当社が作成しております。



.2013年3月期第3四半期の取り組みと重点施策の進捗状況





重点課題

重点施策

顧客基盤拡大



1. ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

- ◆ 外貨受取サービス等の実需サービスをフックにしたロングテール型マス戦略を推進
- ◆ 「SUPER GT300」JLOC公式スポンサーとしてのレース参戦

収益機会創出



2. 取引系ツールの強化及びコンテンツ拡充

- ◆ スマートフォン用FX取引アプリ「Hyper Speed Touch」の機能強化
- ◆ スマートフォンやタブレットでワンストップで取引できるツール「クイック発注ボード」リリース準備
- ◆ CFD取引単位の引下げによる顧客取引促進

収益力強化

3. 基幹システム刷新による収益性改善

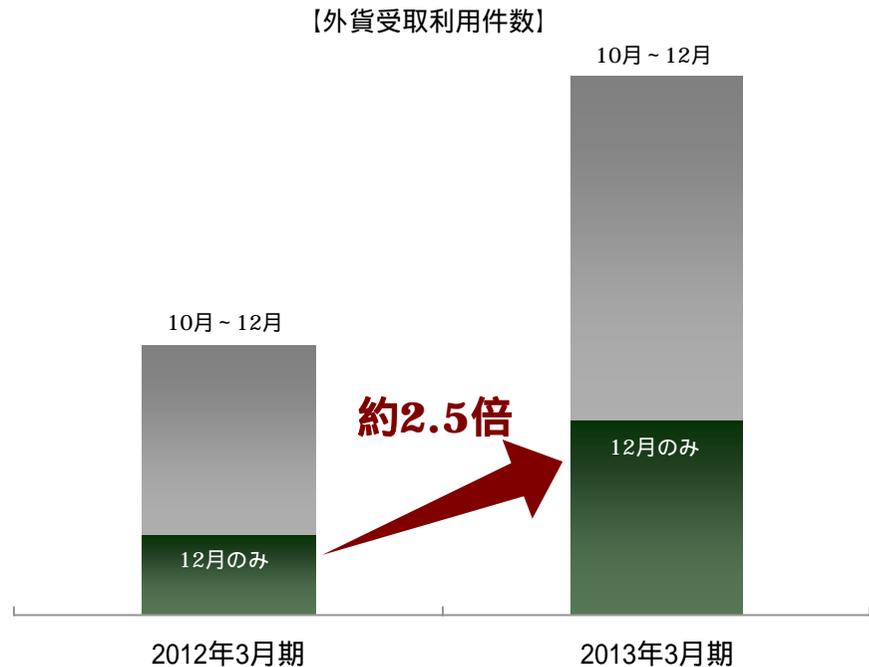
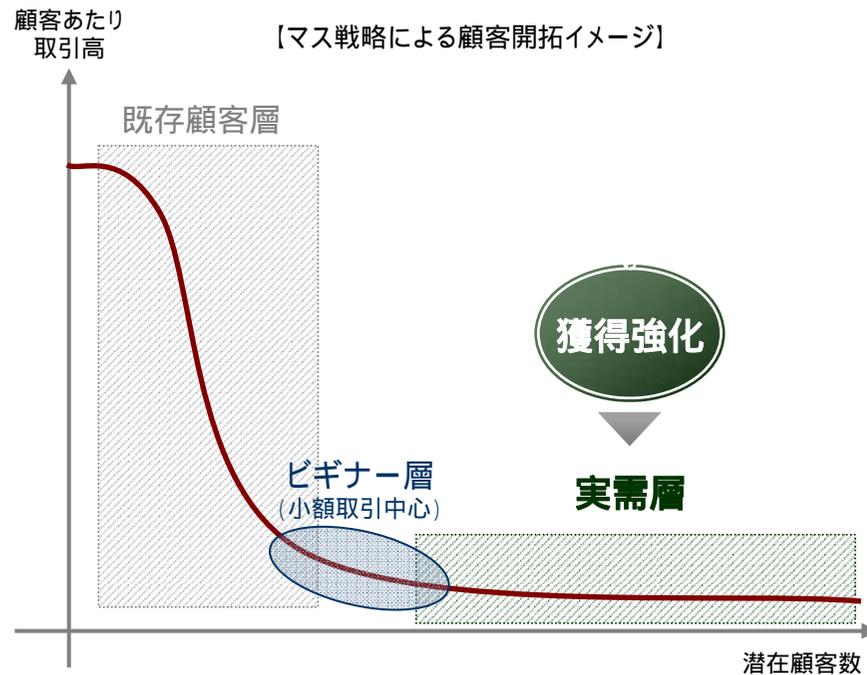
- ◆ 約定取引系、顧客取引系の両基幹システムリニューアルを推進
- ◆ 価格配信システム、カバーディーリングシステムを中心とした基幹システムの継続的改良

1. ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

◆ 外貨受取サービス等の実需サービスをフックにロングテール型のマス戦略を推進

潜在的な顧客規模が見込める実需ニーズ層からの顧客獲得を強化し、FXユーザーへの育成を図る

年末年始需要も大きく伸びた結果、受取件数は、前年同月比で約2.5倍に急増！！



外国為替取引の実需層・ビギナー層からの顧客獲得を推進し、顧客基盤を拡充。

1. ブランディング強化とマス戦略展開による顧客獲得

◆ 「SUPER GT300」JLOC公式スポンサーとしてのレース参戦による認知度向上への取り組み



通算で4度
表彰台を獲得！



【開催スケジュールと戦績】

	開催日	開催場所	順位
第1戦	3/31 ~ 4/1	岡山国際サーキット	17位
第2戦	5/3 ~ 5/4	富士スピードウェイ	Retire
第3戦	6/9 ~ 6/10	セパン・インターナショナル・サーキット	Retire
第4戦	7/28 ~ 7/29	スポーツランドSUGO	3位
第5戦	8/18 ~ 8/19	鈴鹿サーキット	3位
第6戦	9/8 ~ 9/9	富士スピードウェイ	Retire
第7戦	9/29 ~ 9/30	オートポリス	7位
第8戦	10/28 ~ 10/29	ツインリンクもてぎ	3位
特別戦	11/16 ~ 11/18	富士スピードウェイ	3位

延べ**40万人**来場し、会場でのブランディング活動も平行実施
約**5万個超**のノベルティを配布し、マネパ知名度向上
テレビ放映や雑誌掲載等でもブランド訴求

新たなジャンルからの顧客獲得を図って積極的にブランディング活動を展開。

2. 取引系ツールの強化及びコンテンツ拡充

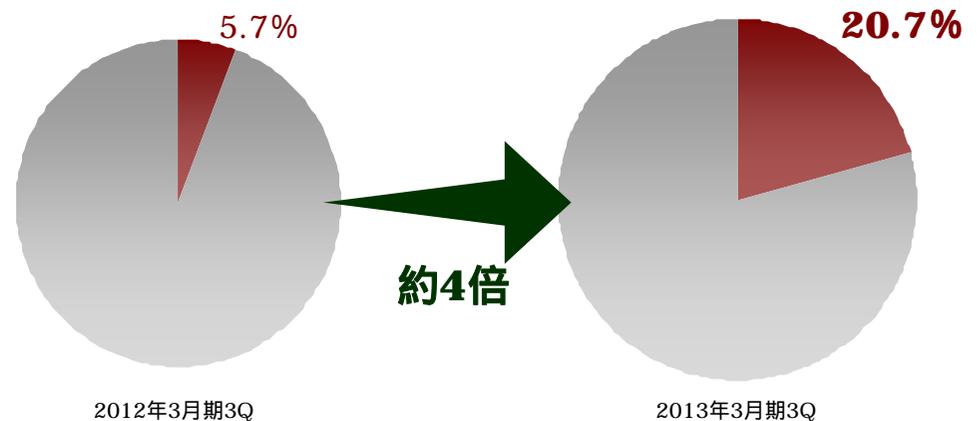
◆ スマートフォン用FX取引アプリ「Hyper Speed Touch」の機能強化



- 2012/1 Ver1.1 レート画面、チャート画面の操作性、視認性向上
- 2012/3 Ver1.2 会員専用サイトアクセスボタン追加、チャートリアルタイム表示対応等
- 2012/4 Ver1.3 会員専用サイトダイレクトログイン機能等追加
- 2012/7 Ver1.4 チャート画面からの直接発注機能等追加
- 2012/11 Ver1.5 決済注文の同時発注機能、通貨ペア別一括決済機能等の追加！！



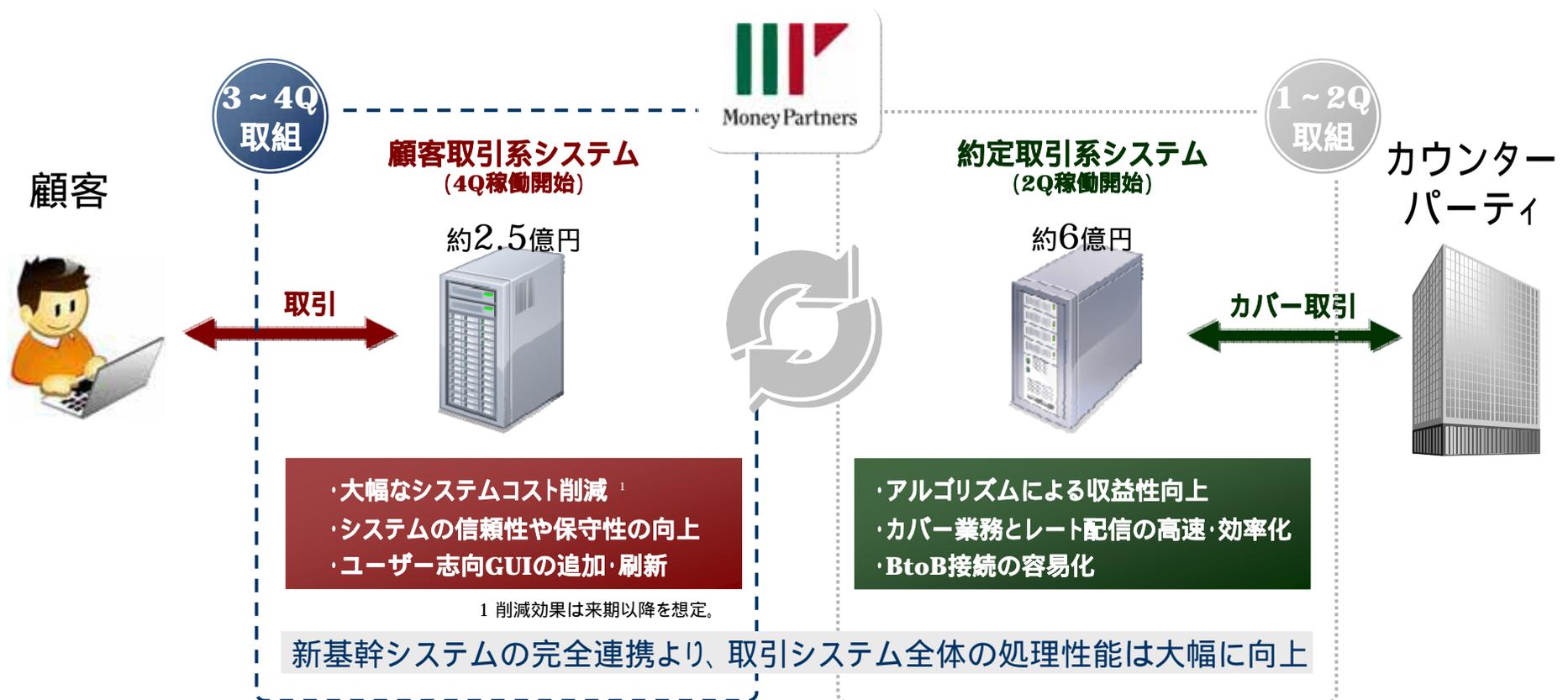
〔Hyper Speed Touch約定件数比率の推移〕



継続的な機能向上により約定件数比率も大幅に拡大。取引チャネルの中核へと成長。

3. 基幹システム刷新による収益性改善

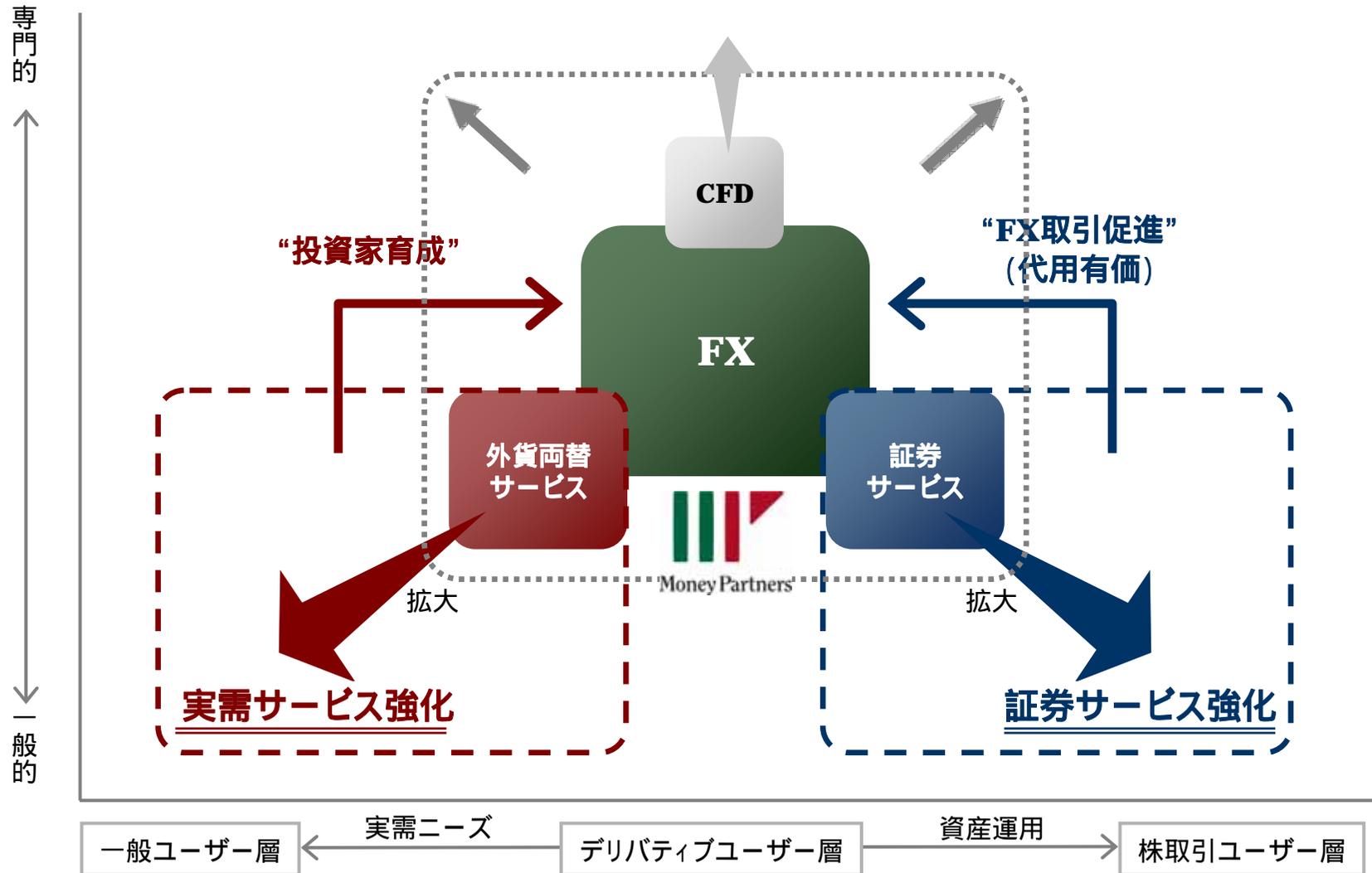
- ◆ 約定取引系、顧客取引系の両基幹システムリニューアルを推進



基幹システム本格稼働によって顧客取引のマネタイズを強力に推進可能

.当社グループの強みと今後の目指すべき方向性





実需サービス・証券サービスの強化拡大を通してコア事業であるFX事業の成長を実現する

. 当社の経営目標及び株主還元について



業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

利益還元方針

配当性向：連結当期純利益の30%を目処

配当機会：中間及び期末（年2回）

当社株式を長期保有していただいている株主の皆様に対し、配当性向の引き上げや年2回の配当実施による利益還元機会の充実を図ってまいりました。今後も、株主利益の最大化を目指して参ります。

	2012年3月期				2013年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益 (百万円)	56	80	134	66	16	167	122	
配当金の総額 (百万円)	30		75		-			
期末発行済 株式総数(株)	321,480 (内、自己株式20,023)				321,480 (内、自己株式20,023)			
1株当たり 配当金	100円		250円		-			

2013年3月期の中間配当金につきましては、無配とさせていただきます。

ROE及び営業収益経常利益率の早期回復

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2013年3月期第3四半期(2012年10～12月)のROEは5.1%**

:四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。
ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ **2013年3月期第3四半期(2012年10～12月)の営業収益経常利益率は12.8%**

営業収益の回復を早期に実現することにより、ROE、営業収益経常利益率の回復を目指して参ります。



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnano及びCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、及びスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXについては、受渡取引に限り、1通貨単位あたり最大0.40円の手料をいただきます。

パートナーズFX及びパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コース(パートナーズFXのみ)の場合は、取引の額の0.5%以上の額で、証拠金の約200倍までの取引が可能です。

CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.625%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,625円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等及び有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願いいたします。

商号 株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

金融商品取引業の登録番号 関東財務局長(金商)第2028号

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

2013年3月期第3四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ